

日時：2012年9月22日(土) 13:00~16:00

場所：大妻女子大学「大妻女子大学博物館」(図書館棟B1)

出席：植竹照雄、榎原 毅、岡田 明、小木和孝、酒井一博、申 紅仙、瀬尾尚聡、竹内由利子、
城 憲秀、橋本修左、松田文子、真家和生、松村秋芳、水野基樹、水野有希、水戸和幸、
山田泰行

配布資料1：22期 第1回理事会次第

配布資料2：第22期理事名簿

配布資料3：各担当案

配布資料4：労働の科学 学会報告(人類動態学会全国大会)

§ 会員動向 (下記を含め227名/一般会員201名・学生会員23名・名誉会員3名)

<入会>

高橋雄三(広島市立大学大学院)、山本あゆ美(広島市立大学大学院)

<退会>

小田博美(シマノ工業株)、上野義雪(千葉工業大学)

§ 議事次第

審議事項

1. 第22期担当および役割について

JHE : 編集委員長 松村秋芳
副編集委員長 岡田明
担当理事 橋本修左
編集委員 岡田明 橋本修左 榎原毅 河原雅典 川上剛 岸田孝弥
真家和生 水野基樹 大橋信夫 大塚柳太郎 坂本和義
城憲秀 植竹照雄 山岡俊樹
編集幹事 下田政博 田中秀幸 小島龍平
相談役 小木和孝

会報 : 大箸純也

広報 : 瀬尾尚聡

国際交流 : 城憲秀 吉川悦子 堀野定雄

研究推進 : 植竹照雄 水野有希 申紅仙 真家和生

次世代 : ワーキングは終了済のため役職の削除
会員獲得および学会企画立案を目的とした役職に変更

将来構想(仮) : 水野基樹
学会の企画および会員獲得などを目的とする

東日本地方会 : 橋本修左

西日本地方会 : 大箸純也

財務 : 竹内由利子

全国大会 : 事務局が大会長と理事会の連携窓口となるため役職の削除

事務局 : 事務局長 竹内由利子、補佐 水野有希 鈴木一弥

- ・JHE 編集委員には、女性を委員に入れる方向で検討。早急に役割を明確にし、10月初旬までに対応。
- ・JHE 投稿に関する連絡について、透明性を確保するためにオープンなアドレスを利用し、投稿者への対応をシェアする。会員へ進捗状況など含め、情報の開示 / 発信ができるようにする。以上の内容を踏まえ、役割を明確にし、会長と合議の上理事会へ再提案。
- ・寄付担当理事設置についての提案
寄付の担当理事は設けず窓口を明確にする。法人会員、賛助会員などについて会則を審議する必要がある原案は執行部で作成する。

2. 会報掲載記事について

- ・書評の掲載について(会員の著書)会報担当で査読者の決定を行う。会員が書いた本などの書評について会報に掲載について今後、行っていく。
- ・会員からの話題提供(大橋信夫元理事より提案)は、会報担当の判断で会報掲載の決定を行う。

3. その他

人類学会のシンポジウムへの共催の提案(真家会長から)

- ・人類動態学会会員が発表する人類学会(11月初旬)の2つのシンポジウムへの共催を提案。

将来構想(仮)について(水野(基)理事から)

- ・今年度の注力項目(2~3個)水野基樹理事から次回理事会で提案。若手も幹事に加え進めていく。

財政健全化について(竹内事務局から)

- ・電子化を実施した場合、体制や実務フローなどの課題があり編集しきれない可能性がある。そのため、電子化を急ぐことについては慎重な判断 / 対応が必要。講習会開催までは理事会で承認済。
- ・今期は紙媒体で残り2つは発行を優先し、その間で体制なども含め電子化への準備を進めていく。

報告

1. 各担当より報告

JHE

- ・前田印刷から詳細な見積もりを取得。合併号の発行の検討、および、理事から JHE 発行費を徴収の検討

国際交流

- ・IEA 年会費の遅滞ない支払いを実施する。

研究推進

- ・「安全な自転車利用促進を目指す循環型社会の新しい交通システム構築のための基盤研究」について、東日本地方会でシンポジウムの開催を予定。学会として提言書をまとめることを目指す全国大会・夏季研究会
- ・第47回大会(防衛医科大学校・松村秋芳理事)を6月16,17日に・夏季研究会を6月15日に開催した。参加者は、夏季研究会が46名、全国大会が100名超え
- ・第48回大会(和歌山大学・山岡俊樹理事)・夏季研究会は和歌山大学で開催予定。

東日本地方会

- ・電気通信大学にて第41回東日本地方会を11月11日(日)に、第9回共生シンポジウムを11月10日(土)に開催予定。
- ・情報をHPに(9/22中)UPする。演題締切は10月12日とする。

西日本地方会

- ・11月17日(土)に日本人間工学会九州支部会と合同開催

財務

次世代ワーキンググループ

財政再建ワーキンググループ

- ・ JHE 電子化に向けた準備、有料講習会については上記参照のこと。

2. その他

研究推進について（真家会長から）

- ・ 「ヒューマンケアサービスの人間工学チェックポイント」について IEA などの動向に合わせ、学会として国内外に対し情報発信を検討。
- ・ JHE などの特集記事にて「ヒューマンケアサービスの人間工学チェックポイント」を紹介する。

JHE 電子化に向けた準備について（竹内事務局長から）

- ・ 本年度は Vol.41 までを刊行することに注力する。
- ・ 講習会についても、早期実施を含め、将来構想（仮）にて検討

次回理事会は、11月10日（土）9:30～

以上